

最新動画
情報

登録無料



第35号

令和4年2月1日

発行元 株式会社Doctorbook |
東京都千代田区内神田一丁目14番10号

vol.
035

POINT 1

小児の重症化は少ない

POINT 2

小児のワクチン接種はメリット・デメリットを考慮

POINT 3

「小児多系統炎症性症候群」のリスク



小児 コロナ

小児における 新型コロナウイルス 感染症の実態

▶ Part1 4:15
▶ Part2 5:22
▶ Part3 4:15

小児新型コロナウイルス感染症 診療のポイント

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株は感染力が強く、今まで感染しづらいと考えられていた小児の間でも感染が拡大することが予想されます。RSウイルスなどの季節性感染症と比較すると、新型コロナウイルスの重症化例は非常に少ないですが、稀に重症化する場合があります。

現在12歳以上が対象の新型コロナウイルスのワクチンは、先日の特例承認により5歳以上から接種可能となりました。

そこで本コンテンツでは、小児における新型コロナウイルス感染症の治療法や、重症化リスク、ワクチン接種による影響、「小児多系統炎症性症候群」について、長崎大学病院 小児科 森内浩幸先生に詳しく解説していただきました。



長崎大学病院 小児科 教授

森内 浩幸 先生

●専門分野:小児科学

- 所属学会
日本小児科学会(評議員、用語委員会委員長、予防接種・感染予防委員会専門委員)
日本ウイルス学会(理事)
日本免疫学会
日本感染症学会
日本AIDS学会
日本小児感染症学会(理事、研究教育委員会委員長)他



POINT 1

精神疾患合併妊娠の 動向と及ぼす影響

POINT 2

医学的・薬剤・育児の 3つのリスク

POINT 3

プレコンセプションケアと 多職種連携の重要性



精神疾患 合併妊娠

精神疾患合併妊娠の 留意点

▶ Part1 9:25
▶ Part2 8:44
▶ Part3 10:56

精神疾患合併妊娠の 動向・リスク・管理

精神疾患合併妊娠は近年増加傾向にあり、当院ではうつ病、次いでパニック障害、統合失調症の順に多くなっています。理由としては、精神疾患の有病者自体が増加傾向であり、特に女性の比率が多いうつ病が増えたため、精神疾患合併妊娠が増加していると考えられます。

精神疾患合併妊娠では患者の個別性を考慮し、十分な情報を提供・共有、双方向性に治療方針を決定するプレコンセプションケアが重要です。日本では医療、行政の連携不足もあるため、今後の課題となっています。

そこで本コンテンツでは精神疾患合併妊娠の動向・リスク・管理について、東京医科歯科大学 周産・女性診療科 教授 宮坂尚幸先生に伺いました。



東京医科歯科大学
周産・女性診療科 教授

宮坂 尚幸 先生

●専門分野:
周産期、婦人科腫瘍、更年期、
女性性心症、生殖医療

- 所属学会:
日本産科婦人科学会
日本周産期・新生児学会
日本磁気共鳴医学会
国際磁気共鳴医学会
東京母性衛生学会



骨粗鬆症

医師会員限定動画

9:21

年齢・骨折リスクを考慮した骨形成促進剤投与後の骨粗鬆症治療



- POINT 1 治療目標について
- POINT 2 年齢・骨折リスクを考慮した薬剤選択について
- POINT 3 骨形成促進剤投与後のデノスマブの臨床試験



大阪大学大学院医学系研究科
運動器再生医学共同研究講座
特任講師

姥名 耕介 先生

骨粗鬆症による脆弱性骨折は、要介護の原因として大きな問題となっています。特に、骨折の危険性の高い骨粗鬆症患者では、骨形成促進剤を組み合わせた治療が考慮されます。一方、骨形成促進剤は投与期間が決められており、投与終了後も治療継続が必要となります。その中において、患者個々のその後の骨折リスクを評価し、標的とする骨折リスクに対して効果の期待できるエビデンスに基づいた薬剤選択が重要と考えられます。

提供：第一三共株式会社

注目動画 1

パーキンソン病

パーキンソン病における機能的外科手術



Part1
9:17
Part2
9:47

- POINT 1 パーキンソン病の薬物治療と経過
- POINT 2 難症例に対するDBSの導入
- POINT 3 DBSの適応と治療効果



順天堂大学医学部附属
練馬病院
脳神経内科 診療科長
教授/副院長

下 泰司 先生

●専門分野：臨床神経学、
運動障害疾患、
不随意運動、
脳深部刺激療法

早期パーキンソン病の治療方法

- 薬物治療：レボドパ、L-Dopa/シメチジン併用療法、MAOI併用療法、抗コリン薬、抗コリン剤、モノアミンオキシダーゼ阻害薬、COMT阻害薬
- 非薬物治療：リハビリテーション

パーキンソン病における機能的外科手術 下 泰司 先生

DBSの適応

- 薬物でコントロールが困難な運動合併症 (Wearing off, LIDs)
- ドパ反応性が良好(ドパテストでMDS-UPDRS Pt 3 scoreが30%以上の改善)
- 手術時の認知UPDRS pt3が30%以上
- 明らかに精神症状なし(精神科医による評価)
- 明らかに認知機能低下なし(MMSE24点以上)
- 視距75未満

パーキンソン病における機能的外科手術 下 泰司 先生

頭蓋内の電位 (Local Field Potential) をモニターしながら電流の強弱をつける事ができる
→Adaptive DBS

パーキンソン病における機能的外科手術 下 泰司 先生

注目動画 2

CLINICAL CLOUD LIVE クリックライブ

Clinical Cloud LIVE

実地診療でのPCOS治療への手引き



日時

2022年 3月 8日 火
19:00-19:30

開業医の先生方を対象に、不妊症の原因疾患である PCOS 治療介入のポイント、適切な紹介タイミングについてご講演頂きます。

演者

東京大学 女性診療科・産科
准教授

原田 美由紀 先生



●専門分野：生殖内分泌
●所属学会：日本産科婦人科学会、生殖医学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本内視鏡外科学会、日本女性医学学会 他